

2)工学部優秀教育者表彰（ティーチングアワード）、学生・教員相互触発型授業検討会の実施

優秀教育者表彰（ティーチングアワード）は平成13年度に始まり本年度で11回目である。学生に良かったと思われる授業を投票させ、その結果を基にして各学科より表彰対象となる授業担当教員を選出し工学部として表彰するものである。その目的は、教育に対する教員の功労をたたえる目的に加え、「学生・教員相互触発型授業検討会」を通して優れた教育法についての情報を他の教員に伝えることにより全体的な教育の質のレベルアップを計ることにある。

教員の選出については、学生投票の結果を利用している。ただし、未だ公平性を保った理想的な投票方法を見出し得ておらず、その方法によって結果が変わってしまわざるを得ない点が問題であった。そのため、平成19年度までは毎年投票形式を変えることにより、数年スパンでは受賞機会の差がなくなり不公平が緩和されるような対処法をとっていた点を改め、今年度は平成20年度、平成21年度と同じ評価基準によりティーチングアワードを実施した。さらに、多くの教育者へ受賞機会を与え、教育質向上の取り組みをエンカレッジすることや、過去10年間の受賞傾向を分析し、1年次または2年次開講の選択必修科目または自由選択科目について賞を授与する仕組みを考慮した。

本年度は、基本的に過去3回と同様の評価基準で実施方針の検討を行った。平成19年度までに指摘されていた問題点として、①得票数で評価するために、受講学生の多い科目が有利になる傾向があること、また②1～3年次を対象とする場合、ごく少数の科目しか受講していない1年生の科目が有利になる傾向があることなどがあつた。平成19年度からは、これらの問題点をできるだけ解消することを基本方針とし、まず①の問題点解消のために、得られた得票数をその講義科目の受講者数（再履修者を含む）で割った得票率を導入し、また②の問題点解消のために、その得票率を各学年の対象講義科目数でかけた評点を利用して評価を行うこととした（詳細は資料1を参照）。なお事務作業の効率化のため、その科目の受講者数（再履修者を含む）は、SOSEKIのデータをそのまま利用した。評点の算出には次の式を利用した（資料1, 2, 3を参照）。

$$(\text{評点}) = (\text{得票数}) / (\text{その科目の受講者数}) \times (\text{その学年での開講科目数})$$

投票期間については、後学期講義科目の授業改善のためのアンケート調査が通常実施される期間の1週間前に行うこととし、各学年で最も学生が集まる授業時間に実施することにした（実施日時および実施場所については資料4参照）。

投票までのスケジュールは以下の通りであつた。

- 12月16日（金）ティーチングアワードの対象科目調査締め切り
- 12月16日（金）ティーチングアワード投票実施予定日調査締め切り
- 1月6日（金）ティーチングアワードの広報日（メール）
- 1月6日（金）協力学生（大学院生）の決定
- 1月10日（火）まで 投票用紙フォームの作成
- 1月12日（木）協力学生への説明会（学生への指示については資料5を参照）
- 1月16日（月）～20日（金）ティーチングアワード投票期間

<表彰対象授業クラスの選考基準>

- ・基本的に評点の高い授業クラスを表彰対象とする。
- ・同じ講義を同一の教員が複数行っている場合は、投票数と受講者をそれぞれ合計して計算する。
- ・実験等の大人数で行う科目、受講者数が極端に少ない科目は選考対象にしない。
- ・数学や英語 D、他学科への依頼科目、複数人数で行う演習科目等を各学科からの表彰対象とするかどうかは各学科の判断に任せる。
- ・以下のケースが生じる場合には、追加で1科目(情報電気電子工学科では2科目以内)選出することができる。
 - (1) 前年度表彰科目が今年度も最上位となる場合。
(理由:多くの教育者へ受賞機会を与え、教育質向上の取組みをエンカレッジするため)
 - (2) 第2位以下(情報電気電子工学科では第3位以下)の上位に「1年次または2年次開講の選択必修科目または自由選択科目」がランキングする場合。
(理由:過去10年間の受賞傾向(表1、2参照)より、1~2年次選択必修・自由選択科目の受賞が困難であることを考慮)

ティーチングアワード投票における回収数を表3に示す。すべての学科において、協力を快諾していただいた講義において予定通りに投票を実施し、回収することができた。協力していただいた講義の担当教員に感謝の意を表します。投票用紙の参考例については資料6を参照のこと。

開票作業は、1月26日(木)16:10より授業改善・FD委員会において、協力学生の協力のもと行った。評点の算出には、各学科で事前に作成された集計表により行った。最終的な表彰対象科目の推薦は、各学科で行うことになっており、開票結果と今年度の選考基準により、ティーチングアワードWGの委員まで報告することになった。

表4に、各学科からの推薦により決定した表彰対象クラスの授業科目、開講年次と必修・選択必修などの種別を示す。マテリアル工学科、機械システム工学科、および社会環境工学科において、例年よりも受賞科目を増やすことになった。また、割合はまだ少ないものの、2年次の選択必修科目の担当教員の受賞も増えることとなった。また本年度は、教授3名、准教授6名、講師1名、非常勤講師1名の受賞となった。

昨年度と同様に、優秀教育者表彰式と学生・教員相互触発型授業検討会を、新年度の4月下旬~5月初旬に開催することになった。これは開催する以上、より多くの教員・学生が参加できる可能性のある時期を選ぶべきだという点と、連休にさしかかった場合に出席者が少なかった従来の反省点を踏まえたもので、教員が多忙で、学生も春休みで旅行等に出かけてしまう年度末、ゴールデンウィークを避けた結果である。新年度に実施する学生・教員相互触発型授業検討会では、例年と同様、優秀教育者表彰を受けた教員に教育の工夫点などについて講演していただく予定である。また、この会の開催に際しては、教員への広報と受賞者への連絡が必要であり、例年通り下記のような準備を行う予定である。

- ・広報関係:ポスターの作成、メールによる案内および教授会・教室会議等での案内
- ・受賞者への連絡:メールおよびFD委員を通じた講演依頼
- ・式の準備:盾および表彰状の発注、立看板および式次第の作成、会場予約、
会場設営(プロジェクタ、指棒)、案内表示

表 1. 過去 10 年間の科目別受賞率

| 科目種別 | 受賞科目数 | 受賞率内訳 % | 1 年次 | | 2 年次 | | 3 年次 | |
|------|-------|---------|------|---------|------|---------|------|---------|
| | | | 科目数 | 受賞率内訳 % | 科目数 | 受賞率内訳 % | 科目数 | 受賞率内訳 % |
| 必修 | 46 | 63.1 | 13 | 86.6 | 25 | 73.5 | 10 | 34.5 |
| 選択必修 | 12 | 16.4 | 0 | 0 | 4 | 11.8 | 7 | 24.1 |
| 推奨 | 3 | 4.1 | 1 | 6.7 | 0 | 0 | 2 | 6.9 |
| 自由選択 | 12 | 16.4 | 1 | 6.7 | 5 | 14.7 | 10 | 34.5 |
| 合計 | 73 | 100.0 | 15 | 100.0 | 34 | 100.0 | 29 | 100.0 |

表 2. 過去 10 年間の受賞者および受賞科目

| ティーチングアワード 受賞者 | | 物質生命化学科 | マテリアル工学科 <small>(知能生産システム工学科(マテリアル系))</small> | 機械システム工学科 <small>(知能生産システム工学科(機械系))</small> | 社会環境工学科 <small>(環境システム工学科(土木環境系))</small> | 建築学科 <small>(環境システム工学科(建築系))</small> | 情報電気電子工学科 電気システム工学科 数値情報システム工学科 | 数理工学科 |
|----------------|------|--|--|--|--|--|--|--------------------------------|
| 第1回 | 2001 | 榊 茂好 「物理化学第一」 2年/自由選択 | 額田 英機 「工業材料基礎」 1年/必修 | 原田 博之 「微分方程式A」 1年/必修 | 小林 一郎 「歴史と景観」 1年/自由選択 | 桂 英昭 「建築設計演習第三」 3年/必修 | 佐々木 守 「論理回路」 1年/推奨科目 | 金 大弘 「解析システム基礎第一」 1年/必修 |
| 第2回 | 2002 | 國武 雅司 「高分子物性」 2年/必修, 2年/自由選択 | 河原 正泰 「製錬プロセス工学」 3年/選択必修 | 原田 博之 「ロボット工学」 3年/自由選択 | 大津 政康 「環境と材料」 2年/必修 | 桂 英昭 「建築設計演習第四」 3年/必修 | 秋山 秀典 「光電工学」 3年/推奨科目, 3年/自由選択 | 宇佐川 毅 「音響情報工学」 3年/選択必修 |
| 第3回 | 2003 | 井原 敏博 「分析化学第一」 2年/必修 | 三浦 秀士 「粉体プロセス工学」 3年/選択必修 | 原田 博之 「ロボット工学」 3年/自由選択 | 山田 文彦 「海岸環境学」 3年/自由選択 | 桂 英昭 「建築設計演習第四」 3年/必修 | 井上 高宏, 秋山 秀典 「電子回路応用」(光電工学) 3年/推奨科目, 3年/自由選択 (副科目と) | 宇佐川 毅 「情報計測」 2年/選択必修 |
| 第4回 | 2004 | 町田 正人 「物理化学第一、第二」 2年/自由選択, 2年/必修 | 西田 稔 「相変態論」 3年/選択必修 | 岩井 善太 「振動工学」 2年/必修 | 大津 政康 「環境と材料」 2年/必修 | 村上 聖 「鉄筋コンクリー構造第一、第二」 3年/必修 | 緒方 公一 「計算機システム工学」 2年/必修 | 宇佐川 毅 「音声情報工学」 3年/自由選択 |
| 第5回 | 2005 | 町田 正人 「物理化学第二」 2年/自由選択 | 西田 稔 「状態図と熱力学」 2年/必修 | 岩井 善太 「振動工学」 2年/必修 | 山屋 敏孝 「構造力学第三」 2年/必修 | 牧野 雄二 「構造力学第三」 2年/必修 | 林田 祐樹 「計算機システム工学演習」 2年/必修 | 汐月 哲夫 「情報機械システム」 3年/選択必修 |
| 第6回 | 2006 | 井原 敏博 「分析化学第二」 3年/必修 | 額田 英機 「マテリアル工学基礎」 1年/必修 | 峠 睦 「機械製図及びCAD演習」 1年/必修 | 大津 政康 「環境と材料」 1年/必修 | 田中 智之, 伊東 龍一 「建築設計演習第二」 2年/必修 | 末吉 哲郎, 林田 祐樹 「基礎数学演習第一」 1年/必修 | 「計算機システム工学演習」 2年/必修 |
| 第7回 | 2007 | 井原 敏博 「分析化学第二」 3年/必修 | 森園 靖造 「固体力学」 2年/必修 | 丸茂 康男 「材料力学第一」 2年/必修 | 山屋 敏孝 「構造の力学」 2年/必修 | 西角 光男, 大西 康伸, 桂 英昭, 田中 智之 「建築設計演習第四」 3年/必修 | 宇佐川 毅, 松永信智 「音響情報工学」 3年/自由選択 | 「制御工学第一」 2年/必修 |
| 第8回 | 2008 | 井原 敏博 「分析化学第二」 3年/必修 | 河原 正泰 「腐食と電気化学」 2年/必修 | 宗像 瑞恵 「流体力学第二」 2年/選択必修 | 椋木 俊文 「社会環境工学実験」 4年/自由選択 | 植田 宏, 田中 智之 「図形表現」 1年/必修 | 末吉 哲郎, 松永信智 「基礎数学演習第一」 1年/必修 | 「制御工学第一」 2年/必修 |
| 第9回 | 2009 | 井原 敏博 「分析化学第二」 3年/必修 | 山崎 倫昭 「腐食と電気化学」 2年/必修 | 宗像 瑞恵 「流体力学第二(2組)」 2年/選択必修 | 椋木 俊文 「地盤環境学」 2年/選択必修 | 伊藤 重剛 「西洋建築史第二」 2年/自由選択 | 秋山 秀典, 松永信智 「高電圧/ハイスパワー工学」 3年/自由選択 | 「制御系設計論」 3年/自由選択 |
| 第10回 | 2010 | 井原 敏博 「分析化学第二」 3年/必修 | 山崎 倫昭 「腐食と電気化学」 2年/必修 | 宗像 瑞恵 「コンピュータサイエンス入門」 1年/必修 | 椋木 俊文 「地盤環境学」 2年/選択必修 | 桂 英昭 「建築計画第二」 2年/必修 | 西本 昌彦, 松永信智 「電気回路第一」 1年/必修 | 「制御工学第一」 2年/必修 |
| | | | | | | | | 城本 啓介 「数理融合第一」 3年/選択必修 |

表 3 回収数

| 学科名 | 物質生命科 学科 | | | マテリアル 工学科 | | | 機械システム 工学科 | | | 社会環境工学科 | | | 建築工学科 | | | 情報電気電 子工学科 | | | 数理工学科 | | |
|-----|-------------|----|----|--------------|----|----|---------------|----|-----|---------|----|----|-------|----|----|---------------|-----|-----|-------|----|----|
| | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 |
| 回収数 | 77 | 74 | 65 | 43 | 46 | 37 | 93 | 84 | 108 | 32 | 61 | 67 | 49 | 47 | 49 | 160 | 143 | 119 | 11 | 11 | 12 |

表 4 表彰対象授業科目

| 学科名 | 科目名 | 学年 | 授業担当教員 |
|-----------|---------------------|--------|---------------------|
| 物質生命科学科 | 無機化学第二 | 2年必修 | 鯉沼 陸央 講師 |
| マテリアル工学科 | 腐食と電気化学 | 2年必修 | 山崎 倫昭 准教授 |
| | 英語 D1・D2 | 3年必修 | グレッグ・アームストロング 先生 |
| 機械システム工学科 | 流体力学第二 | 2年選択必修 | 宗像 瑞恵 准教授 |
| | 制御工学第一 | 3年必修 | 公文 誠 准教授 |
| 社会環境工学科 | 流体の力学 | 2年必修 | 山田 文彦 教授 |
| | 地盤環境学 (地圏環境工学演習) | 2年選択必修 | 椋木 俊文 准教授 |
| 建築学科 | 建築設計演習第四(2) | 3年必修 | 桂 英昭 准教授 |
| 情報電気電子工学科 | 量子力学 | 3年自由選択 | 中村 有水 教授 |
| | デジタル信号処理第一(B組) | 2年必修 | 宇佐川 毅 教授 |
| 数理工学科 | 微分方程式 | 1年必修 | 金 大弘 准教授 |